

第2回 避難所運営協議会 議事録

日付： 令和6年 12月 10日 午後3時～4時

校長先生より避難所運営協議会の広報について

避難所運営協議会の広報のため、学校側で谷戸小学校 HP 上に避難所訓練等について掲載している。HP の内容・レイアウト等についてご意見があればお伝えいただきたい。

2024年11月30日避難所開設訓練の振り返り

■ 訓練内容：南門をすり抜けて入り、備蓄倉庫から鍵を取り出す訓練を実施。安全確認をするという項目は本来あるが、今回の訓練では割愛して実施。非常用公衆電話・仮設トイレの設置も実施。

■ 訓練実施後、事務局からの意見

- ✚ 体育館のカギ3番を2番に変更する必要あり（学校側にて変更済み）。
- ✚ 避難者の校庭への誘導の際、健常者の方の誘導のブラカードがなかったので作成を依頼したい。
- ✚ 体育館脇の備蓄倉庫内の備品リストを今後掲示できるように、避難所事務局にて用意予定。
- ✚ 公衆電話をつなぐ場所のメモがなかったため、避難所事務局にて用意予定。
- ✚ 柳沢小学校等、避難所設営の訓練など活発に活動しているので、谷戸小でも実施できるといい。

■ 訓練実施後、ご参加者の意見

- ✚ 体育館にある備品は非難をする際にはどんどん使ってほしい。おそらくこの学校でもそういう備品を置いてあると思うので、学校の体育館にいけば何か使えるものが置いてあるだろうという発想を持っていただきたい。
- ✚ 訓練を実施して避難所開設方法の理解が少々できてきたが、回数を重ねて実施することが必要。可能であれば一般の保護者の方も参加いただきたい。
- ✚ 水道の組み立てに時間を要している印象。トイレは感覚的に組み立てられるため、水道の継続的訓練が必要。
- ✚ 体験し感じたことは多くの方に訓練に参加していただきたい。
- ✚ 訓練が自分自身のためになったと感じる。多くの方に実際災害があった際はどのように動くべきか考えていただいた方がよいと感じた。
- ✚ アクションカードがどのようにつながっているのか理解するのに時間がかかったこと、理解しきれていない点が不安なので、繰り返し訓練をしていくといいと思う。

■ 危機管理室の方の意見

- ✚ 避難所開設者は初動要員の到着時間が要する場合もあるため、地域住民の方にて開設と想定している。
- ✚ アクションカードに記載があるが、避難所の入り口の門がどこであるか住民の方は分からないと思うので、入り口門の誘導も必要だと思う。
- ✚ 避難者の人数によって、避難所運営（仕切る人）の必要人数についても検討しておいた方がよい。
- ✚ 今回のスタンドパイプ設置訓練は、展開の訓練であったが、来年度以降は実際に利用する等の体験もしてみるといい。
- ✚ 来年度以降は発電機設置訓練も実施した方がよい。訓練用の発電機を西東京市で提供可能。発電機設置訓練は10分ほどで実施可能。
- ✚ 体育館への誘導も必要となってくるが、健常者や高齢者などの誘導の割り振りは事前にアクションカードを見たりしながら、たまに認識して頂きたい。
- ✚ 防災訓練の際に、機材等の取り扱い等に慣れて頂いてほしい。
- ✚ この度基準が変更となり、6強で避難所開設が自動開設となった点の認識をしていただきたい。

質疑応答

- ① 水を通す水道の訓練を2年前に実施したことがあったが、西東京市でホースを提供いただくことは可能か。

→危機管理室回答：可能。

- ② 初動要員の方は毎年訓練に参加頂けるのか。

→危機管理室回答：通常総合防災訓練にあわせて、初動要員が参加する。防災意識が高い学校はそれに加えて別途訓練を行っている状況。前回のような訓練を総合防災訓練の時に付け加えて行うことは可能だと思う。年3回の訓練のうち、1回は発電機の訓練等を加えることはできる。谷戸小学校で避難所開設の訓練が難しい場合には他校に行き訓練の参加も可能。そこから広げていくという手もある。

- ③ 避難所運営の協議会に参加してくださる方を他校はどのように募っているのか。

→危機管理室回答：マンション管理組合の方、中原/ひばりの場合はおやじの会の方、または学校開放施設開放の方が参加していたりする。そういう方々を誘うのは既存のメンバーが声をかけることが多い。既存のコミュニティを活かしていただくのが現実的。

- ④ 避難所運営協議会の勧誘の資料作りをお願いすることは可能であるか。

→伊藤校長先生回答：避難所運営協議会設立から15年程経過するが、新しく建設されたマンション地域のところにはこの活動についてはお話できていないので、マンション管理の方々に紙ベースで案内をし、アポをとり参加依頼をすることは可能。校庭や体育館の利用者に声をかけることであれば、すぐに実施可能。

- ⑤ 避難所への避難については、1軒家の方が優先となっており、マンションの人はその次に避難することになっているのではないか。

→危機管理室回答：マンションの方も避難できるということになっているはず。西東京としてそのような広報はしていないと思う。

- ⑥ 行政である西東京市より避難所についての広報をしていただきたい。

→伊藤校長意見：避難所は地域の方が開くという認識が浸透していない。家が強固であっても水道や家にあるものが使えなくなることもあるということをイメージできれば、防災訓練をやってみなくてはいいという意識が高まると想像する。このような情報は市役所の方でどんどん流していただきたいと思う。

→危機管理室回答：西東京市では、年間30～40回防災講座を実施しており、市のイベントのように1000人ぐらい集まっている状況。現状は地域の方に意識づけできるように活動しているので見守っていただきたい。

諸連絡

- ・次回避難所運営協議会は令和7年2月21日（金曜日）15時～16時に実施予定。
- ・1月19日中原小学校で避難所開設予定なので時間があれば参加してほしい。